



2007年12月10日^月 決死の開幕 聖マリアンナ医科大学 対策セミナー

135指導時間+コンプリート30時間

聖マリアンナ医科大学の特徴

自然に囲まれて、神奈川県に立地する聖マリアンナ医科大学は、新設大学ではあるものの、比較的都心に近く、新設校の中では人気が高い。

聖マリに特徴的な事と言えば、第一に問題が変わっていて記述の多いことである。聖マリに合格したいのであれば、まず赤本等で変わっているとされている問題を十分に解きこなし研究をし、相応の対策をとることがベストであろう。

第二に多浪生は合格しにくいことである。ここで多浪生と言うのは三浪以上をさすのであるが、志願者数、合格者数のデータをみれば明らかにさほど合格していないことが分かる。ただし二浪生までは問題なく合格できるので、はじめから敬遠することはない。

さらに二次試験に関して言えば、集団討論がある。これは慈恵医大を真似ているものとも言われてはいるが、医師としての資質をみるのには適していると言えよう。これに対する対策をしておかないと本番では全く力を発揮することができず、さんざんな結果に終わってしまう事もあるのでなかなか侮れない。しっかりと練習をし、本番では余裕をもって話せるようにしておかなければならない。それはともかく、とりあえず一次突破しなければ……。

聖マリアンナ医科大学 対策セミナーの概要

目標大学はもちろん聖マリ。なにがなんでも聖マリアンナ!

聖マリ制覇のみにターゲットを絞った短期集中型対策セミナー。聖マリの入試問題には、癖や独自のパターンがあることは前述したとおり。しかし、独自のルールがあるからこそ聖マリ特化のカリキュラムや予想問題がたてやすく、さらにある程度の基礎力さえあれば、ピンポイントに集中学習することで十分に攻略できる医大であると断言できる。

もちろん講義に参加するだけ効果がでるわけではない。受験生自身に高い自主性・主体性があり、「ハードにやり込む」覚悟がなければ、せっかく獲得した学力も、合格へと導けるまで消化できないであろう。今回は激戦が予想される入試動向を考慮し、講義は必須事項の徹底暗記から得点力獲得のための知識・解法まで英数理科を速習していく。加えて、夕方に実施されるコンプリート授業(完成のための補習授業)で聖マリ攻略のエッセンスと実践力を獲得

セミナーに関する基本データ

| 項目 | 内容 |
|-------|---|
| 授業形式 | 講義解説・講義演習・コンプリート授業の3段階構成で実施 |
| 時 限 | 午前ターム=9:30~12:40(180分) |
| | 午後ターム=13:30~16:30(180分) |
| | コンプリート=17:00~18:30(90分) |
| 教 科 | 英語36時間・数学36時間・化学36時間 生物・物理27時間=計135時間 + コンプリート90分×20回=30時間 |
| 受講者特典 | 聖マリの医大別直前ゼミが無料で受講できます。 一次合格時には2次試験対策も無料実施。 |



Windom
医学部予備校ウインドム

一切の無駄を省き、全精力で、一直線に聖マリ合格を目指す。

聖マリ英語特講

聖マリの英語は、どこをとっても難しい。真剣に一次突破を狙うのであれば限られた時間で単語・発音・語形変化・英訳を徹底的に習得し、文法も時制の基礎的なところから形容詞・副詞・名詞の頻出のところまでスピーディに学習していく必要もある。

長文総合では、聖マリ特有の和訳、和文英訳、同意文、整序の設問にいたるまで、類題を用いて学習する。満点をとれる解答をキチンと書けるようにすることに主眼を置く(マーク違い、うる覚えは許されない)。会話文は例年空所補充形式で出題されているが、「質」「量」をこなすことで、会得できる項目である。最後に文法問題であるが、ほとんどPoint的分野からの出題であるので予想立てて演習をすることができる。その気があれば、恐れるに足らない。以上、長文・文法・会話文を並行しながら講義演習を実施し、聖マリ英語ボーダー突破を狙う。

聖マリ数学特講

ここ数年間は大問3題で1が小問10題、2が小問1~2題(式を書かせるもの)、3が記述式1題という形式が続いている。小問は全分野から出題され、大問は微積分・ベクトル・行列が頻出であり、特に微積分は他分野の問題と絡められて出題されることも多い。小問・大問ともに基本~標準レベルの問題が大部分である。

テクノ・シリーズでは基本~標準レベルの問題を取りこぼしのないように正確に解答することに主眼を置き、前半は小問の演習を通して「本試験10問中9問の解答」を目指し、後半は東邦特有の大問(図形問題など)を制圧していく。

受講者特典 『医大別直前ゼミ』聖マリ予想模試Ⅱに無料でご出席いただけます。

聖マリ化学特講

大問4題。聖マリ化学の最大の特徴は、何といっても1~5行の論述。もちろん実際に書いてもらって添削を実施する。

しかし、最も大切なことは、個別に、論述問題を始めるのに必要な正確な知識が身に付いているかどうかの確認である。特に①では、法則、化学史など盲点をついた出題が見られるが、そういう問題こそ、化学の原理・原則を理解している者が高得点をとれると考えねばなるまい。得点源にする必要がある③、④の有機分野を含め、出題を予想した演習をし、「得点力化学」を完成させる。

また、聖マリの化学対策で欠かせないものが論述対策である。入試時間が75分(2科目で150分)と長いのはこの論述のため、といってもよいだろう。なにしろ、1~5行以内(多くは3行以下だが)の論述が、15題(03年、02年)も出題されたことがあるのだから、対策を講じないわけにはいかない。「用語」の説明、「理由」の説明などさまざまな出題への対策は、ただひとつ。とにかく「自分で書いてみる」ことである。

コンプリートの時間ではこの論述対策として、与えた課題について生徒が書いてきたものをできるだけ生かした正解を導いていく。つまり、一人ひとり、個々に添削し表現法などの指導をしていく。

聖マリ生物特講

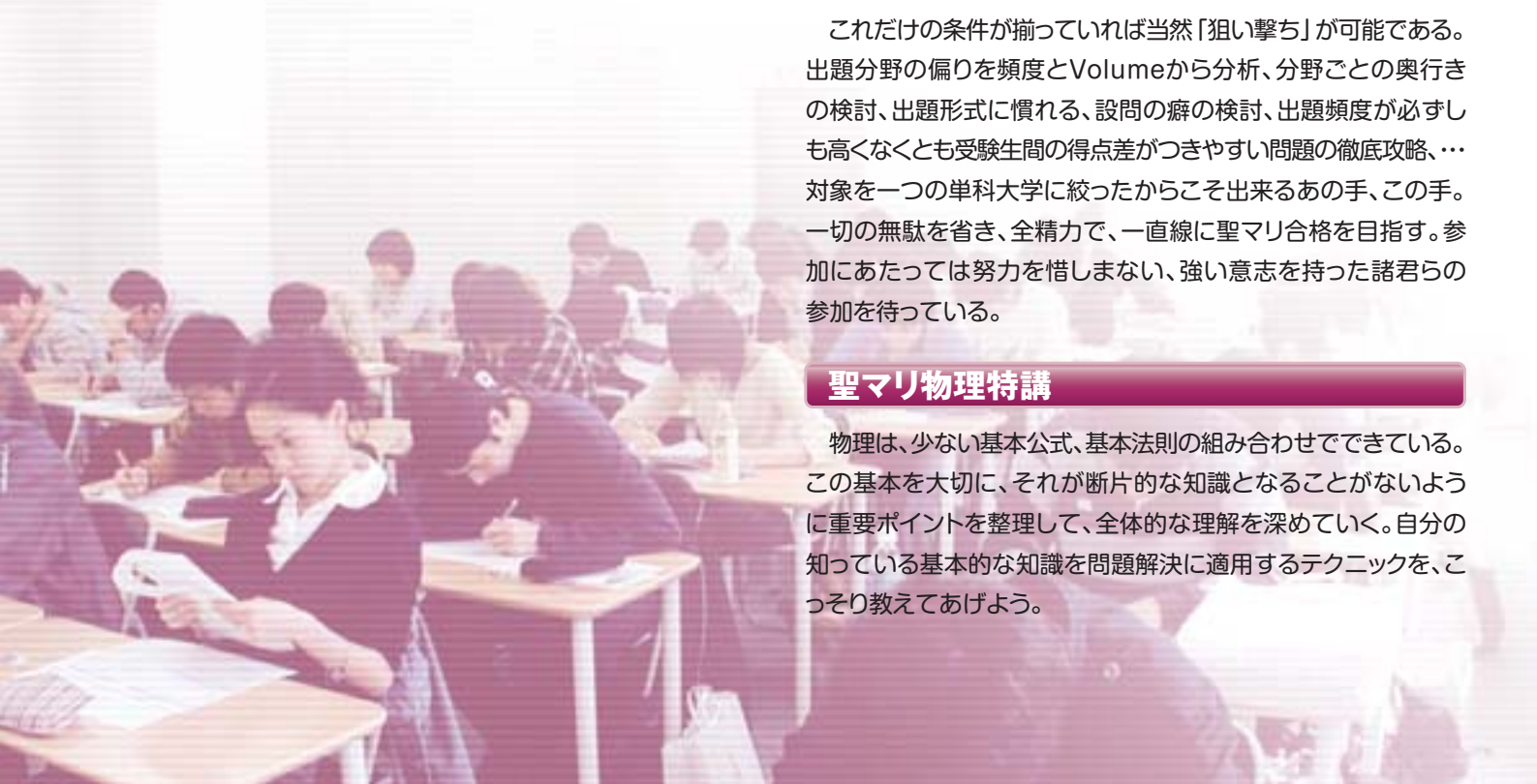
聖マリは単科大学である。単科大学の教員は数が少ない。その少ない教員で毎年毎年入学試験問題を作成しなければならない。入学試験問題の作成はそもそも大学教員の業務の中では重要度が低い(研究、学部教育、大学院教育との比較において)。

試験委員も人の子である。個人的な癖もあれば、好みもある。それを悟られまいという心理も毎年同じ程度に働く。同じ人間が、同じことを考えながら、同じ仕事を、毎年同じ時期にする。それが大学入試である。

これだけの条件が揃っていれば当然「狙い撃ち」が可能である。出題分野の偏りを頻度とVolumeから分析、分野ごとの奥行きを検討、出題形式に慣れる、設問の癖の検討、出題頻度が必ずしも高くなくとも受験生間の得点差がつきやすい問題の徹底攻略、…対象を一つの単科大学に絞ったからこそ出来るあの手、この手。一切の無駄を省き、全精力で、一直線に聖マリ合格を目指す。参加にあたっては努力を惜しまない、強い意志を持った諸君らの参加を待っている。

聖マリ物理特講

物理は、少ない基本公式、基本法則の組み合わせでできている。この基本を大切に、それが断片的な知識となることがないように重要ポイントを整理して、全体的な理解を深めていく。自分の知っている基本的な知識を問題解決に適用するテクニックを、こっそり教えてあげよう。





申込要領

1. 下記申込書に必要事項を記入して、提出してください(郵送・Faxでも結構です)。定員になり次第締め切ります。
2. 申込書提出後学費請求書を郵送いたします。
3. 受講料金 ¥496,900円(税込)
4. 受講料金を下記の口座にお振込ください。

三井住友銀行 渋谷駅前支店
普通預金口座 口座番号:2740761 口座名:(カ)ウインダム

5. テキストは随時発送いたします。
6. お振込みいただきました受講料金は理由の如何に問わず、返金できませんので、ご了承ください。

聖マリアンナ医科大学対策セミナースケジュール

| 日 | 曜 | 9:30~12:40 | 13:30~16:40 | 17:00~18:30 | 18:40~20:10 |
|---------------------|--------|---|----------------------------------|-------------|-------------|
| 12月10日 | 火 | 第1ターム 聖マリ 英語特講I | 聖マリ 化学特講I | コンプリー授業 | — |
| 12月11日 | 水 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月12日 | 木 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月13日 | 金 | 第2ターム 聖マリ 物理特講I 聖マリ 生物特講I | 聖マリ 数学特講I | 聖マリ英語特講II | |
| 12月14日 | 土 | | | | |
| 12月15日 | 日 | | | | |
| 12月16日 | 月 | 実施なし | | | |
| 12月17日 | 火 | 第3ターム 聖マリ 物理特講II 聖マリ 生物特講II | 聖マリ 化学特講II | コンプリー授業 | — |
| 12月18日 | 水 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月19日 | 木 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月20日 | 金 | 第4ターム 聖マリ 数学特講II | 聖マリ 物理特講III 聖マリ 生物特講III | コンプリー授業 | — |
| 12月21日 | 土 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月22日 | 日 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月23日 | 月 | 実施なし | | | |
| 12月24日 | 火 | 第5ターム 聖マリ 化学特講III | 聖マリ 英語特講III | コンプリー授業 | — |
| 12月25日 | 水 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月26日 | 木 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月27日 | 金 | 第6ターム 聖マリ 数学特講III | 聖マリ 化学特講IV | コンプリー授業 | — |
| 12月28日 | 土 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月29日 | 日 | | | コンプリー授業 | — |
| 12月30日 ~ 1月4日 | 金 土 | 実施なし | | | |
| 1月5日 | 日 | 第7ターム 聖マリ 英語特講IIIIV | 聖マリ 数学特講IV | コンプリー授業 | — |
| 1月6日 | 月 | | | コンプリー授業 | — |
| 1月7日 | 火 | | | コンプリー授業 | — |

※スケジュールは変更される場合があります。ご了承ください。

聖マリアンナ医科大学対策セミナー 受講申込書

| | | | | |
|-------------|---|--|-----------------|---------------------|
| 氏名 | | | | 男・女 |
| 住所 | 〒 | | | |
| 在籍・ 出身高校 | | | 卒業年度 (卒業生のみ) | |
| 連絡先 Tel | | | | 選択科目いずれかに○ 化学・生物 |

○受講生は12月9日(日)に実施されるウインダム医進模試を受験ください。

郵送・FAX・TEL等でお申込ください。

TEL 03-5469-8578

FAX 03-5469-8587

